資料様式

令和６年度　事業報告書
東山いきいき市民活動センター

【指定管理者：有限責任事業組合まちとしごと総合研究所】

１．管理運営の状況

１　施設運営業務

（１）職員体制

センター長１名、職員９名（常勤３、非常勤７）

【人材育成の取組】

・各スタッフの専門性に合わせた OJT の実施

・窓口応対向上のための全体及び個別レクチャーの実施

・定期的な個人面談の実施

・より専門性を高めるための外部研修の奨励

（２）貸館等

ア　利用件数

（月別）

４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
642	577	570	569	499	604	637	563	558	510	552	594

（年間）

6,875 件（前年度比　98%）

イ　利用状況

利用総数は微減しているが、月単位でいくと半数近くの月で増加している。長期休みなどでの利用件数が下がっていることが理由として挙げられます。

ウ　利用促進に向けた取組

昨年度末に鏡を入れて利用件数の増加に勤めましたが、まだ効果は見られず、今年度では鏡の部屋を増やし、より一層新規利用団体の獲得に努めていくつもりです。

エ　その他

サロンは今年度で廃止されることもあり、利用件数としては昨年度同様な形になりました。来年度では本館の方で引き継げるように備品などの移動を進めました。

（３）情報発信等

ア　取組実績

Facebook を活用した情報発信に力を入れてまいりました。投稿内容としては、センター認知度につながる情報に加え、センター事業に関する投稿や東山区にまつわる人や場所やものやイベントなどの発信だけでなく、センタースタッフの人となりを知っていただき、気軽に窓口に相談いただけるよう工夫を行いました。

イ　取組の効果

各事業の報告を発信し続けたことで、それぞれの事業への参加者の数も徐々に増加していきました。

（４）管理運営

今年度も通常通り建築物の保守管理、保安警備業務、清掃業務、植栽保全、エレベーター保守点検等を実施しました。

（５）その他

POS レジの導入及びウェブ予約の周知を進めた結果、徐々に窓口ではなくウェブからの申し込みをされる団体も増えてきました。

２．市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】市民の「やりたい」を形にする対話型ワークショップ創出事業～東山しゃべくり大作戦～

事業の概要

１　開催日時：令和６年８月 25 日（日）10 時～12 時
　　令和６年 11 月 24 日（日）10 時～12 時
　　令和７年２月 22 日（土）10 時～12 時

２　開催場所：東山いきいき市民活動センター集会室／霊明神社／東山図書館

３　参加人数：　延べ３０名

４　協力団体等：東山くらしよし／東山図書館／霊明神社

５　予算：　670,000 円　　／　決算：　656,779 円

１　事業内容

東山区内において、地域やまちづくりなどを含めた公益的な取り組みを行っている・または行いたい方々のつながりの場があまり存在しません。東山区の盛り上げ・新たな活動の担い手・既存の活動の担い手とのつながりの機会創出を目的とした「東山しゃべくり大作戦」を実施しました。

２　準備段階での工夫

昨年度までは当日参加者よりトークテーマを募っていく形式で実施しましたが、今年度は各回テーマを予め設け、またテーマに沿った会場にて実施する形式に変更しました。8 月は東山図書館との連携により、「図書館の新たな利活用」をテーマに、11 月は「防災食」をテーマに、2 月は「東山の歴史」をテーマに霊明神社と連携して実施しました。それぞれ関心のある方々が集まり、通常回と比べて中身の濃い話し合いが行われていました。

３　事業実施による効果・達成度

（１）当初の事業効果，目標等

元々は区役所で実施されていた「まちカフェ」を継承し、年間４回程度、各回１５名程度の参加者を見込みながら、センターの存在を知らない層にセンターの存在の周知と新たな担い手の発掘とネットワークづくりを目標に掲げていました。

（２）事業実施による目標の達成度

センターを飛び出して会場を変えて行ったことで、これまでセンターで開催していた時と比べて参加者層が若干変わってきました。テーマに興味ある方々が来場したということもありますが、これまでセンターと関係性のなかった方々の参加も見られ、他との連携の意義を感じました。

４　今後の抱負

このしゃべくり大作戦からスピンオフ企画として有志の方々と「東山で企む会」という催しを今年度複数回実施することができました。こちらは招待制で、東山で何らかの活動をスタートさせている活動者を対象に実施したこともあり、しゃべくりとは全く違う話し合いが行われ、実際に参加者同士の事業連携なども生み出すことができました。今後はこのように通常回と企む会の両輪で実施していきたいと考えています。

事業風景の写真

２．市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】地域の学び直しの場づくり事業「みんなの学校ごっこ」

事業の概要

１　開催日時：令和６年９月 23 日（土）24 日（日）10 時～17 時
　　令和７年３月 10 日（日）10 時～18 時

２　開催場所：東山いきいき市民活動センター全館、多目的ホール

３　参加人数：　延べ 680 名

４　協力団体等：みんなの学校ごっこ実行委員会

５　予算：　1,050,000 円　　／　決算：　1,118,384 円

１　事業内容

みんなの学校ごっこは、まちの方々の知識やスキルを学びに変え市民活動への参加を促すとともに新たな活動の一助となることを目的に実施しています。

まちのみなさんがスキルをセンセイとして教え、まちのみなさんが生徒になって学び合い教え合う場として開催しています。今年も２回９月と３月に開催しました。

２　準備段階での工夫

今年度も実行委員会を組織し、公募で集まった市民の方たちと事業を構築していきました。

３　事業実施による効果・達成度

（１）当初の事業効果，目標等

多様な市民の方々がご自身のスキルや知識や経験を出し合える町にしていきたいという想いから、多様な「センセイ」の発掘と市民の有志による実行委員会の自主的運営を目標としていました。

（２）事業実施による目標の達成度

今年度も多くの方が「センセイ」となりました、９月では 70 名、３月では 15 名の方が参加しました。事業を担うプレイヤー達が自身で考え実行していく取り組みも増えていき規模も昨年を上回るものとなり一定の事業効果をあげることができました。実行委員会も大学生から 50 代までの多様な世代の方が集まる場にもなりました。

４　今後の抱負

実行委員会の拡大により人数や動き方など、運営を再構築していく必要があると考えています。開催までのロードマップを作成や実行委員の役割の明確化などを実施し、円滑に運営を行いたいと考えています。広報活動について SNS やチラシのみに注力していたがそれ以外の広報も開拓していきます。

事業風景の写真

みんなの学校ごっこin東山 2025
春の
オープンキャンパス
Vol.2
大人も子どもも一緒に学べる体験できる！
東山いきいき
市民活動センター
3F
多目的ホール
3.9 2025 SUN
10:00-17:00

遊びも学びも全力で！
大人も子どももここに集まれ！
みんなの学校ごっこ
2024
参加無料
2024 9/21(土)-22(日)
京都市東山いきいき市民活動センター
「みんなの学校ごっこ」とは、
「自分の好きなことや得意なこと」を
まちのみんながセンセイになって教え合う、
参加したみんなが主役になれる
2日限りの学校です！
みんなの学校ごっこ実行委員会

２．市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】地域課題・社会課題受発信事業(メディアセンター事業)

事業の概要

１　開催日時：令和６年４月　～令和７年３月（月１回程度）

２　開催場所：東山いきいき市民活動センター

３　参加人数：①各回５名～10 名程度②市民ライター３名③各５名

４　予算：　1,450,000 円　　／　決算：　1,421,086 円

１　事業内容

①動画製作集団の組織化「Social Echoes」

ソーシャルグッドな動画を制作し発信することで新たな地域活動やトレンドの表出と動画の発信の担い手の創出による新たな市民活動の担い手創出とを同時に実施しました。月に１回程度の定例会議でメンバー同士の交流・技術の向上・動画企画の立案などを行っていきました。

②WEB メディア「iINA」の発行

『あなたのいいなが、まちのいいねに…』をテーマに、WEB メディア「iINA」は京都市東山区を中心に、市民の方に「それイイな、やってみよう」と思えるような、地域で活動する人の考え方や取り組みを発信しました。今年度は３名の市民ライターとともに、記事作成をしてまいりました。

③動画スクールの開校

初めて動画制作をおこなう方向けに動画スクールを開講しました。スマートフォンのみで完結するよう講座を構築し、卒業制作としてソーシャルグッドな動画を作成することで社会問題の発信にも寄与しました。四半期に１回の実施予定でしたが、台風や大雪の影響で実施が２回となってしまいました。

２　準備段階での工夫

多様な方々が参加できるよう、SNS や広報ツールを使用し、メンバー獲得に注力し、また定着していただけるよう、コミュニケーションの機会もなるべく多く持てるように工夫しました。

３　事業実施による効果・達成度

（１）当初の事業効果，目標等

より多くの方々に発信の担い手になっていただけるよう、チームづくりと発信機会の創出を目指していきました。

（２）事業実施による目標の達成度

①については制作する動画のテーマを固定化し会議、撮影、編集のサイクルを短い期間で回すことで制作のペースを上げることにつながりました。②については市民ライターが執筆しました。③については卒業制作として動画を発信していただきました。

４　今後の抱負

昨年度より制作の頻度があがり参加者が集まる機会も増えました、次年度以降も活発に活動していけるように体制を整えていきたい。③については①への接続が少なかったので増やしていく仕組みづくりを再構築していきたい。

事業風景の写真

動画制作の基礎を
一気に学ぶ３日間
超入門
動画スクール
会場 東山いきいき市民活動センター
３階ワークショップルームA
2024年 5/11(土) 5/18(土) 5/25(土)
各回 13時~15時

Social Echoes
@socialechoes3716
ホーム
動画
再生リスト
nuts link~SDGsなモノ紹介~
my mizu アプリ~SDGsなモノ紹介~

note
iina
iina｜あなたのいいながまちのいいなに

２．市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】ｅスポーツ・アナログゲームを通じた世代間交流事業

事業の概要

１　開催日時：令和６年４月～令和７年３月

２　開催場所：東山いきいき市民活動センターふれあいサロン／東山区役所／東山図書館

３　参加人数：　延べ 120 名

４　予算：　620,000 円　　／　決算：　623,814 円

１　事業内容

ｅスポーツを通して、多世代の交流をおこなうことを目的に事業を行いました。会場はふれあいサロンを使用しｅスポーツチーム『おいなり』を組織化し、月１回程度、活動を実施しました。

また、東山図書館との連携により、図書館の新たな利活用を考える「さわげる図書館プロジェクト」としてアナログゲームパーティを２ヶ月に１回開催しました。

２　準備段階での工夫

SNS などを活用し、活動の周知などを行なっていきました。

３　事業実施による効果・達成度

（１）当初の事業効果，目標等

近年市民権を得てきているｅスポーツを活用し、多世代交流事業を行うことで多様な人々のつながり・連携を生み出していきたいと考えていました。

（２）事業実施による目標の達成度

今年度も引き続きボランティアと協力しｅスポーツの経験がなくとも参加しやすいように工夫して実施しました。前年度より、チームおいなりとして活動し公式サイトの作成や SNS などにも力を入れ、広報活動も拡大していきました。小学生や大学生、高齢の参加者など様々な世代が参画し交流したことで目標が達成に繋がりました。ｅスポーツの利活用として今年度は東山区が開催している区民祭りに出展し、普段ｅスポーツとは縁遠い方たちにも楽しんで取り組めるものであると感じていただけることができました。

また、さわげる図書館プロジェクトでは、毎回約 30 名ほどの来場があり、これまで図書館に縁のなかった市民の方々の参加にも繋がり、図書館の新たな価値づくりに貢献できたのではないかと考えています。

４　今後の抱負

次年度より、サロン除却のため本館でも引き続き活動を行っていきたいと考えています。また参加者が固定化しているので新たに参加者を増やす取り組みとして広報活動を強化するとともに、チームとして目標を設定し大会の参加や開催なども積極的に行っていきます。また、図書館の企画では、運営側に回っていただける方を募っていき、一緒に図書館などの公共空間の価値を見直していく市民の方々の輩出に繋げていきたいと考えています。

事業風景の写真

２．市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】“地域の縁側”としての居場所づくり事業　「装いのアトリエ」

事業の概要

１　開催日時：令和６年４月～令和７年３月

２　開催場所：東山いきいき市民活動センター　ふれあいサロン

３　参加人数：10 名（上半期５名、下半期５名）＋サロン利用者

４　予算：　430,000 円　　／　決算：　464,048 円

１　事業内容

多世代交流拠点（旧高齢者ふれあいサロン）にて、ものづくりワークショップを通じた多世代の交流や居場所づくりを月に一度行いました。ワークショップに参加することで、異なる世代の人々が集い、交流やコミュニケーションが生まれたり、手作りの楽しさや喜びを共有することができる場をつくりました。

２　準備段階での工夫

普段サロンをご利用されている地域の方々にも積極的に声かけを行い、一緒にものづくりが行えるように工夫していきました。

３　事業実施による効果・達成度

（１）当初の事業効果，目標等

参加者が異なる世代の人々と交流し、新たなつながりを作り出すことを目指し、参加者や地域の人々が交流し、地域とのつながりを深めたり、世代を超えた交流を行うことを狙いました。

（２）事業実施による目標の達成度

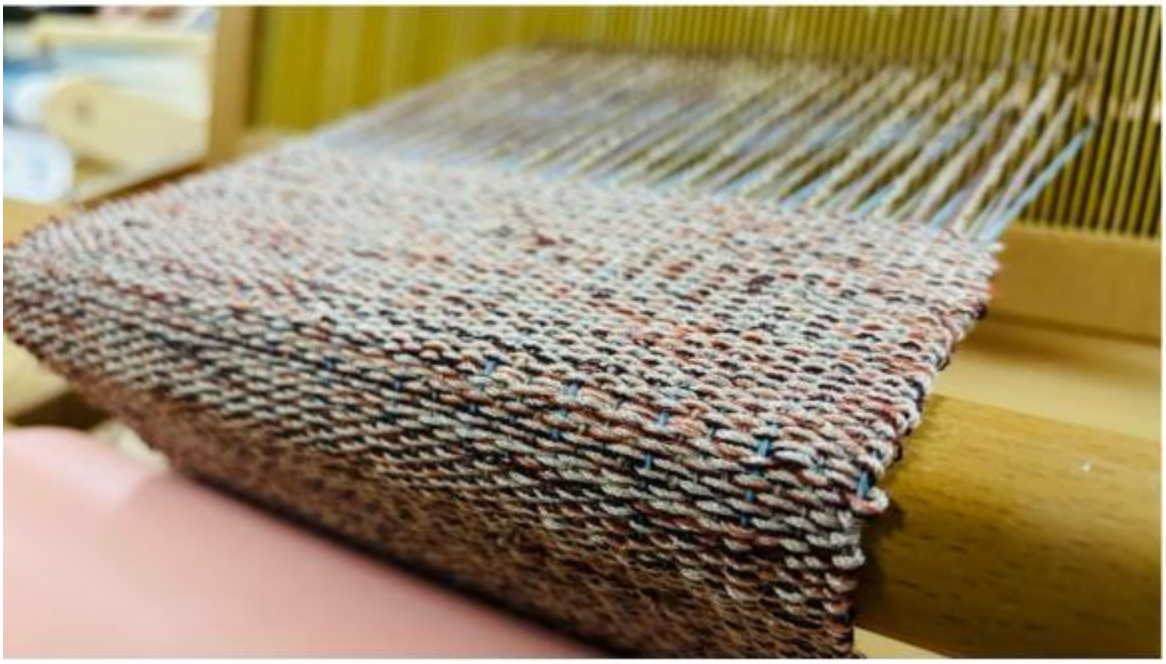
今年度は上半期と下半期、どちらも半年かけてひと作品を製作する形で実施しました。作品づくりが進むにつれて参加者同士の関係性が深まり、作品づくりだけでなくこのコミュニティがあることも、日々の活力となり、実施日が来るのを楽しみにされる要因の１つとなったようです。

４　今後の抱負

半年間のワークショップという性質上、参加者同士の交流やコミュニティづくりに注力できる一方で、参加受け入れ人数を多くできずメンバーの固定化点が課題として挙げられる。

世代によってもコミュニティへ馴染む時間の掛かり方は様々なので、どういった場にしたいのか、多世代が循環しながら交流するためにはどんな方法が取れるのかを引き続き模索し、進めていきたい。

事業風景の写真



２．市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】地域課題・社会課題受発信事業（メディアセンター事業）

「インターネットラジオ番組：ちょっとご縁がありまして」

事業の概要

１　開催日時：令和６年４月～令和７年３月

２　開催場所：東山いきいき市民活動センター

３　放送回数：6 回・総再生回数 432 回

４　予算：　０円　　／　決算：　０円

１　事業内容

東山いきいき市民活動センターでご縁が繋がった「ちょっと面白いヒト」をお呼びして、その方の活動だけではなく、活動を始めたきっかけや背景を深掘りしてお聞きする音声配信番組を運営しました。

https://stand.fm/channels/613ef65e7de6f0a0e09cbbce

２　準備段階での工夫

前もって利用団体さまや活動団体にお話を伺い、活動の PR や発表会などの告知、メンバー募集を効果的にできるようなタイミングを設定しました。また、聞き手となるナビゲーターを公募でも募集し、実際に活動を行っているゲストとお話をすることで市民活動を間近で感じられる機会を設けました。

３　事業実施による効果・達成度

（１）当初の事業効果，目標等

配信媒体は、現在のところ stand.fm と Facebook を使い、このラジオを聞いた人が活動の第一歩や新しいご縁に繋がる 機会の創出を目的としています。

（２）事業実施による目標の達成度

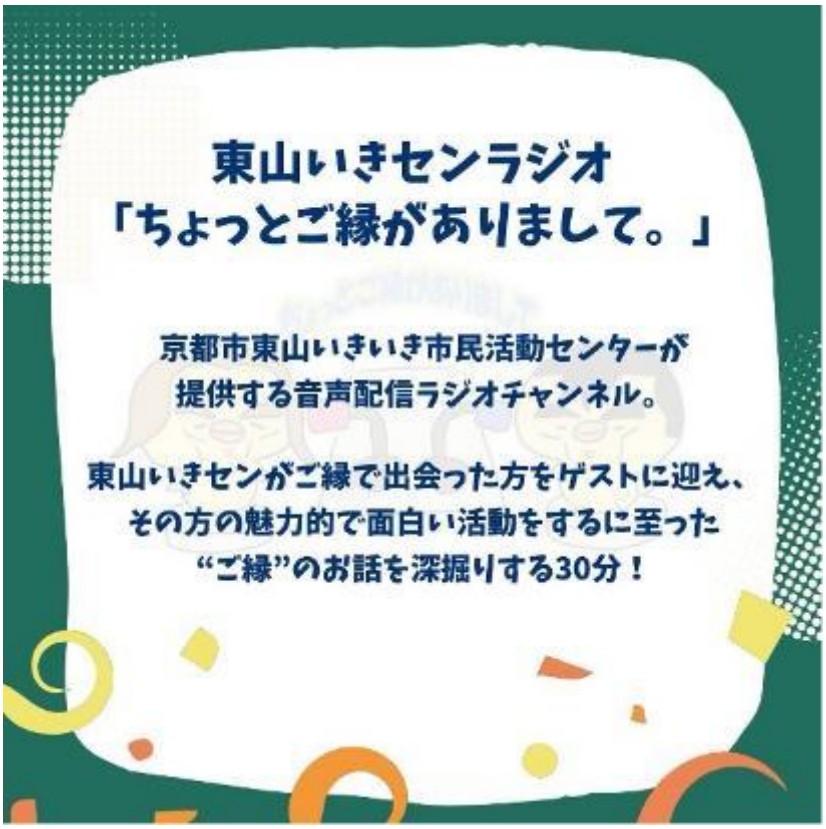
今年度も様々な活動者のお話をお聞きし、発信することができました。他の事業で出会った方々にもお声かけすることにより、継続した関わりを生み出す一助になっている他、活動を始めたばかりの方をゲストにお迎えすることで活動の PR に繋がったりと、市民活動のサポートとして一定の事業成果を上げることができました。また、別センターへ音声配信のノウハウ伝授も行うことができました。

４　今後の抱負

今年度は昨年度に比べてゲスト登壇者が少なく、ボランティアナビゲーターとの日程調整の難しさや、ゲストへのお声かけの回数が減ってしまったことが課題に挙げられます。

活動者にとっても貴重な PR の場の１つであるため、月 1～2 名の収録を目指し、またボランティアナビゲーターの育成も力を入れていきたい。

事業風景の写真


東山いきセンラジオ
「ちょっとご縁がありまして。」
京都市東山いきいき市民活動センターが
提供する音声配信ラジオチャンネル。
東山いきセンがご縁で出会った方をゲストに迎え、
その方の魅力的で面白い活動をするに至った
“ご縁”のお話を深掘りする30分！

２．市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】アーバンファームで多世代交流事業

事業の概要

１　開催日時：令和６年４月～令和７年３月

２　開催場所：東山いきいき市民活動センター　中庭

３　参加人数：各回約 15 名

４　予算：　０円　　／　決算：　０円

１　事業内容

東山いきセンの中庭を有効活用できないかと考え、お庭作りや土いじり・作物栽培などに関心のある方々を募り、アーバンファーム「東山オープンガーデン」として生まれ変わらせ、多様な人々が中庭を理由に集い活動する事業を行いました。

２　準備段階での工夫

興味ある方々にやってもらうのではなく、センター職員と一緒に汗をかき楽しむところから始めていきました。SNS でグループを作り、常に情報発信と共有を行い、誰もが参加しやすいように工夫していきました。

３　事業実施による効果・達成度

（１）当初の事業効果，目標等

中庭の利活用を通じて多様な方々が集うきっかけを提供することを目的として始めました。

（２）事業実施による目標の達成度

次第に人も増えてきており、最近では入れ替わり立ち替わりにはなりますが、常時 15 名近くの参加があるくらいになりました。みんなで物品などを持ち寄ることで、現状では特に費用もかからずに運営することができています。

４　今後の抱負

今年度である程度中庭を整えることができました。今後については利活用を参加者と一緒に考え、より柔軟に多様なことが行える市民に開かれたスペースとして活用していきたいと考えています。

事業風景の写真

２．市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】交流スペースリノベーションワークショップ

事業の概要

１　開催日時：令和 6 年 11 月～令和 7 年 3 月

２　開催場所：東山いきいき市民活動センター　交流スペース

３　参加人数：15 名

４　予算：　650,000 円　　／　決算：　601,440 円

１　事業内容

当センターのサロンが令和 6 年度で閉鎖となるので、そこに集まってこられている方々の居場所を本館の方に確保したい。単に高齢者の居場所とするのではなく、多様な世代の方々が滞留し、交流・連携できる機能も持たせたいと考えており、この機にリノベーションを行いたいと考えています。学生たちと協働で、開かれたワークショップのような形式でリノベーションを一般市民・利用者にも呼びかけながら進めていく事業として実施しました。

２　準備段階での工夫

リノベーションについては、我々だけで行うのではなく、東山区で活躍している大学生サークル「KYOBI 建築研究会」の大学生たちに協力を仰ぎ、一緒に実施していきました。

３　事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果，目標等

地域の方々の意見も聞きながら交流スペースのリノベーションを大学生たちと一緒に行い、ワークショップを通じて交流を生み出していきたいと考えていました。

（2）事業実施による目標の達成度

2 月～3 月にかけて、大学生たちとワークショップによる話し合いを重ねながらデザインの擦り合わせを行い、リノベーションにまで漕ぎ着けることができました。リノベーションの基本的な部分は大学生たちに行なっていただきつつ、カーテンや椅子などの作成についてはワークショップ形式をとり、利用者を交えて作成していきました。

４　今後の抱負

無事リノベーションを終えることができ、今後はサロンに変わる拠点として交流スペースの利活用を進めていきたいと考えています。

事業風景の写真

３．利用料金の収入実績及び管理運営に係る経費の収支決算

１　利用料金の収入実績

令和 6 年度実績：12,040,220 円（前年度比 98%）

（内訳　会議室等：11,072,970 円
付属設備：266,430 円　※自主事業分を除く
スモールオフィス：700,820 円）

２　管理運営に係る経費の収支決算

別紙収支決算書のとおり

４．施設の利用者満足度の把握

１　利用者満足度の把握状況

（１）全センター共通窓口サービス調査

【実施時期】令和 6 年 11 月実施

【調査項目】窓口サービス

（２）センター独自アンケート

事業実施時にアンケートを実施

２　利用者満足度把握の結果

①　案内表示は分かりやすかったですか。

たいへん満足	満足	不満	たいへん不満	無回答
52%	46%	1%	0%	1%

②　あいさつやお声がけはきちんとできていましたか

たいへん満足	満足	不満	たいへん不満	無回答
56%	39%	4%	0%	1%

③　身だしなみは業務にふさわしいものでしたか

たいへん満足	満足	不満	たいへん不満	無回答
56%	43%	0%	0%	1%

④　表情や態度は感じが良かったですか。

たいへん満足	満足	不満	たいへん不満	無回答
52%	43%	3%	0%	2%

⑤　言葉づかいや説明は、親切で、ていねいでしたか。

たいへん満足	満足	不満	たいへん不満	無回答
54%	41%	2%	0%	3%

⑥　説明は的確で分かりやすかったですか。

たいへん満足	満足	不満	たいへん不満	無回答
57%	40%	1%	0%	2%

⑦　整理、整頓は行き届いていましたか

たいへん満足	満足	不満	たいへん不満	無回答
55%	38%	3%	1%	3%

３　意見等への主な対応状況

○　利用者からの意見で対応したものを記載してください。

５．指定管理者による管理運営業務の自己評価

・　取り組んだ事業等の総括を記載してください。

・　今後、解決すべき課題等があれば記載してください。

・　次年度に向けた対応にについて記載してください。

今年度も多様な方々とのコミュニケーションのうえ、それぞれの事業を進めてまいりました。その中から、「アーバンファーム」「さわげる図書館プロジェクト」「東山で企む会」など、新たな事業のタネも生まれてきており、少しずつ進化・発展させていくことができたと感じています。

次年度については、今年度少しずつ実施することができたセンターを飛び越えての東山区内各所で事業実施をより一層広げていくことで東山区全体の市民活動を盛り上げていきたいと考えています。その例として、学校ごっこの横展開なども進めていきたいと考えています。

６．その他施設の管理運営に関する重要又は異例な事項

今年度、台風や大雪の影響により、動画スクールの実施回数が少なくなってしまいました。天候が理由のため、なかなか難しいところではありますが、次年度では、開催時期についての見直しを図りつつ、予定通り開催できるように進めてまいりたいと思っています。

【締め切り】

４月３０日（水）までに地域自治推進室へデータ１部＋紙１部を提出

※　地域自治推進室の確認後、紙の残部（１７部又は１８部）を提出

※　収支決算書も４月３０日（水）までに提出してください。